

10日間の
特別祈禱

【6日目】裁きへの確信と祈り



【テーマ聖句】

「天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。」
エフェソ1:4、5

2022年1月10日(月)

「わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。」

エフェソの信徒への手紙 1章 3～5節

裁きの時が来た

黙示録にある第一天使のメッセージは「裁きの時が来た」（黙示録 14:7）と告げています。燃えるような永遠の光の中で、天の裁きの現実、祈りを通して私たちが神とのより深い関係へと導きます。天の聖所での裁きは、古代イスラエルにおける贖いの日によって予表されていました。旧約聖書の幕屋の制度にある贖いの日には、全イスラエルが聖所の周りに集まり、罪を告白し、神の赦しを求めていました。レビ記 23:29（口語訳）には次のようにはっきりと述べられています。「すべてその日に身を悩まさない者は、民のうちから断たれるであろう。」 「身を悩ます」とは、悔い改めと告白のうちに神を求め、敬虔な生活をおくることができる力を神に祈り求めることでした。

天における最後の審判には、神の栄誉と名声とがかかっています。神の品性に対する疑惑が、全宇宙の前で議題として取り上げられているのです。神は公平なお方なのだろうか？ 神の命令を守ることは可能なのだろうか？ そもそも神は愛と義とを兼ね備えておられるのだろうか？ この裁きを通して、神は全人類を救うためにでき得る限りのすべてのことを行われたことが明らかにされます。これ以上ないほど、神の恵みはすべての人類に対して十分なものでした。それは私たちが罪の力と刑罰の両方から贖う恵みであり、私たちの過去の間違いを赦し、私たちが自由放免にする恵みなのです。

裁きの場の切迫感、私たちがキリストとの深い関係へと導きます。私たちは、キリストの御名がたたえられることを望み、彼の名声を汚すようなことを行おうとは思いません。私たちは裁きを恐れる必要がないのです。キリストが私たちの弁護者であり、裁判官であられるからです。（ヨハネ 5:22）キリストによって、私たちは全宇宙の王であるお方の息子・娘となり、天の王族の一員となるのです。預言者ダニエルは、イエスが最後の審判で私たちの代わりに父の前に出る様子を描いています。何万もの天の住民たちが、この法廷の場に集まっています。善と悪の大争闘はまもなく終わりを迎えます。神の品性を表すその御名は、全宇宙の前で高く掲げられることでしょう。（ダニエル 7:9～14）神が憐れみ深く、義のお方であり、天の最高の贈り物としてイエスをお与えになったことが全宇宙の住民に理解されるからです。

永遠にわたって私たちは叫ぶことでしょう。「わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。」（エフェソ 1:3～6）

今日の祈りのとき、私たちは自分の心をよく吟味し、神の御心にそぐわないものがあつたならば、それを明らかに示してくださるよう主に求めましょう。深いところに隠れた罪をも清めてくださる主にすべてを委ね、神の恵み、赦し、そして罪を清める力に感謝しましょう。何よりも、救い主キリストに感謝しましょう。

【神のみ言葉によって祈る】

「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。」

黙示録 14:7

神を畏れ

神様、私はあなたを礼拝します。あなたはすべての名誉と栄光を受けるにふさわしいお方です。天の主権者であり、創造主であり、永遠のお方であるあなたに、畏敬の念を抱きます。あなたに並ぶものはほかにありません。

その栄光をたたえなさい

神様、あなたが弱い私を通して、あなた自身とあなたの愛の品性を明らかにしようとしておられることを考えるとき、驚きを隠せません。どうかあなたの聖霊で私を満たし、あなたの栄光で覆ってください。私の中に住み、私の内側で生きてくださり、あなたによって罪に勝利させてください。あなたの御心と調和することができるように、どうか私を助けてください。

神の裁きの時が来た

イエス様、あなたの裁きを感謝します。裁きは私のためであり、あなたが全宇宙に義を回復してくださることを感謝します。あなたは私の弁護者であり、大祭司であること、そしてあなたの義によって、私が頭を上げてあなたに感謝をささげることができる確証を与えてくださり感謝します。残された時が少ないことを常に思い起こさせ、一人でも多くの人があなただの永遠の救いを見出すことができるように、彼らのところに私をつかわしてください。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ